

平成 26 年 3 月 10 日

シンクロ関係者 各位

公益財団法人 日本水泳連盟
シンクロ委員会

2014 年度

国民体育大会(デュエット) テクニカルルーティン規定要素
日本シンクロチャレンジカップ 2014 ハイライトルーティン 出場資格
ナショナルトライアル 2015 出場資格
について

先般「シンクロルール改正特別研修会」(平成 26 年 1 月 25・26 日開催)にて、継続検討課題としておりました標記案件について、シンクロ委員会で審議検討いたしました結果、下記のように決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、シンクロ委員会では、今後も選手強化育成および普及の両面を重視しつつ、国内全体の競技力向上および競技の普及発展につながる競技会開催に尽力してまいります。つきましては、皆様のご理解ご協力を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1) 国民体育大会(デュエット) テクニカルルーティン規定要素は、

FINA2013-2017 テクニカルルーティン・デュエット規定要素(シンクロナイズドスイミング競技規則(2014)164-165 頁)と同じとする。

<補足説明>

本件について下記手順にて、公表・情報伝達の反復をいたしました。

・平成 25 年(2013 年)9 月 :

「コーチジャッジクリニック」にて公表およびエレメンツの紹介。

国民体育大会デュエット強化のために、平成 26 年(1 月)ナショナルトライアル 2014 の活用を推奨。

・平成 26 年(2014 年)1 月 :

「シンクロルール改正特別研修会」にて再度紹介。

実際に、すでにナショナルトライアル 2014 を、国民体育大会代表選考会として活用した加盟団体もあります。

さらに、シンクロ委員会として、各加盟団体からの指導者派遣要請等の各種要望に今後も継続的かつ柔軟に対応・サポートいたします。

また、今年度末予定のナショナルコーチ研修会ブロック巡回指導の際にも、リクエストがあれば現場指導を実施いたします。

2) 日本シンクロチャレンジカップ 2014 ハイライトルーティン 出場資格は、下記とする。

・シンクロバジテストステージ 6 以上を取得していること

・中学生以上の者で構成されていること

※各加盟団体主催予選会でのハイライト種目予選の必要はない

<補足説明>

少しでも多くの選手にチャレンジの機会を設け、日本のハイライト強化のベース作りと促進を目的といたします。

3) ナショナルトライアル 2015 出場資格は、下記とする。

・シンクロバジテストステージ 6 以上を取得していること

※年齢制限はない

<補足説明>

少しでも多くの選手にチャレンジの機会を設け、日本選手権大会 および 国民体育大会 (デュエット)に向けた強化、更に冬季の基本技術強化を目的とする大会として位置づけいたします。

年齢については、実際には小学校 6 年生以上が出場し、それ以下の年齢の選手が出場することはほとんどないと考えられるため、特に年齢制限を設けず、低年齢でも挑戦したい者に、その機会を妨げないことといたします。

以上